

坂井 美穂 議員 … 3 件の一般質問



高齢者の活躍できる環境づくりに介護ポイントの導入を

町長：地域の福祉活動全般にできる制度として検討

**坂井** 介護ボランティアポイント制度は、介護施設などでのボランティア活動に対し、商品との交換や換金ができるポイントを付与するもの。

新たに地域活動をするきっかけや、励みにもつながっていくのではないかと。

また、活動を介護施設に限定せず、地域の実情に合わせた制度設計をすることに、地域が抱える課題を解決する施策となるのでは。この制度の導入を町長に伺う。

ポイント付与の対象を小学生以上とする自治体もある。子どもたちの情操教育に役立つほか、介護への関心を高め、将来的な介護の担い手育成につながるものとして期待されている。教育長の見解を伺う。

**町長** 高齢者が社会参加

地域貢献を行うとともに、高齢者自身の健康増進も期待できる取り組みとして、道内では札幌市、北広島市、苫小牧市、函館市などで導入されている。ポイント制度の実施は、他市の取り組み

み状況も踏まえ、課題等の整理を行い研究を進めていきたい。

**教育長** 子どもたちの介護への関心を高め、

将来的な担い手の育成にもつながるとともに、福祉政策の重要性、必要性を身をもって学ぶ機会ともなり、学校教育の中で培われたボランティア活動の意義の理解と自発的な参加意欲の向上にもつながると考える。

制度の導入については、担当部局と連携、協力しながら取り組んでいく。

**坂井** 健康な高齢者も多く、介護サービス

を必要としない人から、保険料負担の軽減を求める声も聞かれる。社会福祉協議会とも連携をし、住民の意見を取り入れ、お互いにプラスになる案を検討できないだろうか。

**町長** 年齢制限なく参加

できる仕組みを社会福祉協議会とも意見交換しながら、地域の福祉活動全般にできるような制度設計をしていく。

子ども達が世界に羽たける環境づくり

**坂井** この町で生活している子ども達は、

小さなころから多くの異文化に接することができ、すばらしい環境の中にいる。この地域の特性を生かして、子ども達の可能性を引き出すことができな

町内小中高の英語連携事業を多くの子どもたちが参加できるように、放課後子ども教室として展開することができないかを教育長に伺う。

また、この放課後子ども教室を放課後児童クラブと一体型の事業として行うことができないか。放課後児童クラブの拡充に向けた取り組みを第5次俱知安町総合計画にどのように反映させているのか町長に伺う。

**教育長** 小中高英語連携事業

業の中のイングリッシュ・デイキャンプに類似したような活動は、放課後子ども教室を活用しての実施も可能。

**町長** 第5期総合計画後

期には盛り込まれていない。それにこだわらず、子どもプランの計画書をつくり、放課後児童クラブあるいは放課後子ども教室に対応していく。小中高英語教育がしっかりとできるような仕掛けを教育委員会と一体となってつくり上げていきたい。

高齢者免許制度に対する支援

**坂井** 認知機能チェック

を強化する改正道路交通法で免許を失う高齢者は確実に増加する。

これまでも警察や自治体では、運転に不安のある高齢者に自主返納を呼びかけているが、車が生活の一部となっている方も多く、日常生活の買い物や通院に不自由になるなど大きな影響を与えることが多く、なかなか手放せない状況にある。そのためには、車がなくても安心して生活できる代替交通の整備が必要ではないか。

また、車の運転は生活

の足だけではなく、高齢者の生きがいにつながっており、免許返納をめぐって本人や家族が悩むケースも多く、福祉の面からの支援も大切である。それに対する代替交通手段の確保や高齢者の生活支援に対しての町長の考えを伺う。

**町長** 現状では、じゃがりん号の運行、福祉ハイヤー券利用、スクールバスの混乗、路線バス等となっている。生活支援としては、除雪へ

ルパーの派遣や、今後、声かけ運動と間口除雪を加えた応援ができる体制の整備も検討している。

**坂井** じゃがりん号は、

これまで車を運転していた人たちのニーズに対応できるのか疑問がある。事前予約制の乗合バスや乗合タクシーの導入、通院の送迎を助けるボランティアなども考えられないか。

**町長** じゃがりん号の郊

外への対応を含めて検討していく。